

(3) 骨材

新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における令和4年度1月～3月期の骨材需給は、地域によっては、例年に比べ降雪量が少なかったことや継続工事などにより、増加したところもあったが、県全体では、地域間でばらつきがみられ、県計では、出荷量で3%減、生産量で3%増となった。

地区別に前年度同期比を見ると、上越地区では、出荷量は10%増、生産量で45%増、中越地区は、出荷量で3%減、生産量で5%増、下越地区は、出荷量で2%減、生産量で2%増、佐渡地区は、前年度の反動減もあり、出荷量で35%減、生産量で44%減となった。

令和4年度通期の累計では、対前年度同期比の県計で、出荷量が6%減、生産量が3%減、3月末の在庫量は4%増となった。

富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における令和4年度1月～3月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量は4%減、生産量は3%減と、出荷量、生産量とも前年度を下まわった。また、前期(令和4年度10月～12月期)比では、出荷量は26%減、生産量は17%減となった。

地区別の前年同期比では、東部地区は出荷量が6%減、生産量が5%減、西部地区においては出荷量が2%減、生産量が2%減となった。

3月末在庫量は、前期末(令和4年12月末)より、東部地区では14ポイント増に、西部地区では17ポイント増に、県全体では15ポイント増となった。

石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における令和4年度1～3月期の骨材(県内産)の需給状況は、新型コロナウイルスの影響等による需要不振が懸念される中、例年になく厳冬の天候に恵まれたことから回復傾向となり、県計全体の出荷量は前年同期と比べて10%の増加となった。

1～3月期の地区別の出荷量の比較では、加賀地区は陸砂利・川砂利が今期は一転して回復基調となったことから前年同期比で10%の増加となった。一方、能登地区は逆に低調な状況となり前年同期比で20%の減少となった。

その今期の出荷量の内訳を見ると、加賀地区については、主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利は、その主要な需要先である生コン業者向けの出荷において、11カ月連続前年比マイナスが続いていた大口需要の金沢地区が、新年1月に入りようやく不振から抜け出し今期は23%の増加となった。一方、南加賀地区の今期は思うように伸びず、前年同期比で9%の減少となった。しかしアスファルト合材業者向けの出荷は、今期も堅調に推移し前年同期比で9%の増加となった。以上を総じて、今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期比で17%の増加となり、4期ぶりの増加となった。

また路盤材を主体とする加賀地区の山碎石は、大型物件のない中、前年度並みの出荷を確保し、前年同期比で1%の減少に止めた。

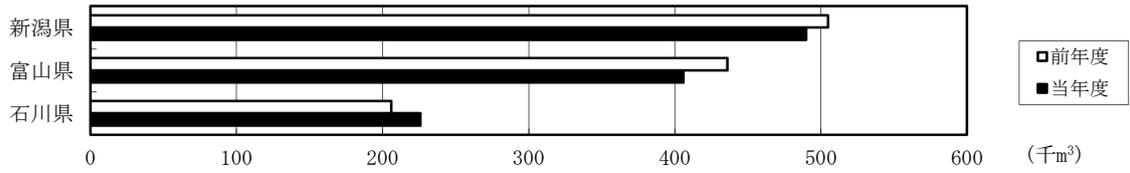
一方、能登地区(山碎石)については、今期は前年同期比で20%の減少となった。この地区は県外からの流入材に押されて量的に少ない上に、昨今の需要の縮小化が状況を更に深刻化させており、依然としてこの地区の地場産業者の経営環境は、極めて厳しい状況にある。

生産量については、加賀・能登地区共に今期も概ね出荷量に合わせた生産体制をとっており、県計では前年同期比で8%の増産となった。

在庫量は、加賀地区の陸砂利・川砂利と能登地区の山碎石がやや積み上がり傾向にあることから、県計全体の前年同期比では3%の増量となった。

令和4年度の県計全体における年間通期累計(R4.4月～R5.3月)では、出荷量は県計で前年度と比べて1%の減少となり、生産量は1%の増産となった。なお在庫量は3%の増量となった。

骨材出荷量の推移（1月～3月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	令和3年度 年計	令和4年度				
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	累計
新潟県	上越	出荷量	▲5 771	▲20 170	▲13 213	▲16 198	10 86	▲13 667
		生産量	▲4 780	▲23 190	▲16 212	▲10 216	45 61	▲13 679
		在庫量	7 131	▲5 151	▲9 150	▲1 167	9 143	9 143
	中越	出荷量	0 966	▲3 226	1 304	▲6 279	▲3 131	▲3 940
		生産量	1 961	4 262	1 311	▲7 263	5 126	0 962
		在庫量	▲2 300	4 336	4 343	4 326	7 320	7 320
	下越	出荷量	2 1,240	1 298	▲6 322	▲4 340	▲2 247	▲3 1,207
		生産量	▲1 1,184	6 312	10 341	▲4 319	2 254	4 1,226
		在庫量	▲7 709	▲5 723	1 742	2 722	3 729	3 729
	佐渡	出荷量	22 178	0 34	▲16 36	▲33 41	▲35 26	▲23 137
		生産量	24 177	▲3 36	▲10 37	▲40 36	▲44 22	▲26 131
		在庫量	▲6 709	▲5 723	0 742	▲6 722	▲12 729	▲12 729
	県計	出荷量	0 3,155	▲6 728	▲6 875	▲9 858	▲3 490	▲6 2,951
		生産量	0 3,102	▲4 800	▲1 901	▲9 834	3 463	▲3 2,998
		在庫量	▲4 1,173	▲3 1,245	1 1,271	2 1,247	4 1,221	4 1,221
富山県	東部	出荷量	0 652	4 154	▲9 158	▲7 190	▲6 130	▲5 632
		生産量	3 652	1 160	▲7 162	▲13 168	▲5 142	▲7 632
		在庫量	▲1 84	11 104	12 109	1 87	3 100	3 100
	西部	出荷量	▲5 803	2 210	▲11 207	▲6 216	▲1 172	▲5 805
		生産量	▲7 788	3 215	▲10 204	▲6 218	▲2 177	▲4 814
		在庫量	▲32 28	23 38	31 34	38 36	31 42	31 42
	県計	出荷量	▲3 1,455	3 364	▲10 365	▲7 406	▲3 302	▲5 1,437
		生産量	▲3 1,440	2 375	▲9 366	▲9 386	▲3 319	▲5 1,446
		在庫量	▲11 112	14 142	16 143	10 123	10 142	10 142
石川県	加賀	出荷量	▲8 936	▲7 210	▲4 229	▲4 259	▲10 222	▲2 920
		生産量	▲11 921	▲4 219	2 234	▲6 250	10 219	0 922
		在庫量	▲10 142	▲4 151	5 156	3 147	1 144	1 144
	能登	出荷量	▲24 13	50 3	100 2	20 6	▲20 4	15 15
		生産量	17 14	100 4	0 2	125 9	▲50 3	29 18
		在庫量	20 6	40 7	17 7	100 10	50 9	50 9
	県計	出荷量	▲8 949	▲7 213	▲3 231	▲4 265	▲10 226	▲1 935
		生産量	▲11 935	▲3 223	2 236	▲4 259	8 222	1 940
		在庫量	▲9 148	▲3 158	5 163	6 157	3 153	3 153

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員105社のうち105社

富山県

会員86社のうち86社

非会員 1社のうち 1社

石川県

会員21社のうち21社 (委託工業者含む)

非会員16社のうち9社

(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)